

企業の出勤状況調査（2026年5月）

<アンケート結果総括>

■ 集計結果概要

- 約7割の企業がテレワークを実施しており、約6割の企業が時差出勤を実施しているなど、柔軟な働き方が継続して実施されている
- テレワーク、時差出勤ともに約7割の企業が前回調査時と同程度の規模で継続して実施しており、取組が定着している状況が見られた
- 出社回帰については、「出社中心に戻した」または「やや出社が増えた」と回答した企業が37%となっており、出社を中心とした働き方への移行の動きもみられる

○以前から引き続き、多くの企業の皆様には、テレワークや時差出勤を始めとするスムーズビズの実現にご協力いただいています。

○テレワークや時差通勤を始めとするスムーズビズの実現は、通勤ラッシュの回避や新しいワークスタイルや健康経営の実現にも役立ちます。引き続き、スムーズビズにご協力をお願いします。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

引き続き、定期的に調査を行い、登録企業の皆さまの取組状況把握に努め、都の取組検討に活用してまいります。
今後とも、アンケートへのご協力をお願いいたします。

企業の出勤状況調査（2026年5月）

<実施概要>

■対象：約12,900社（スムーズBiz登録企業）

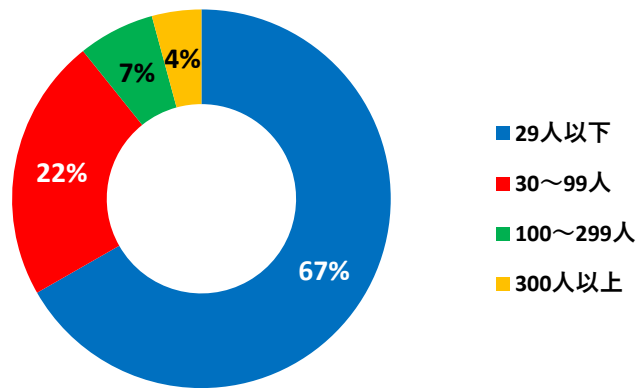
■質問項目

Q1: 令和8年2月～4月の取組内容
Q2: 2026年2月からの取組規模の変化
Q3: テレワークと時差出勤について
Q4: 従業員の出勤割合
Q5: 従業員の出勤時刻

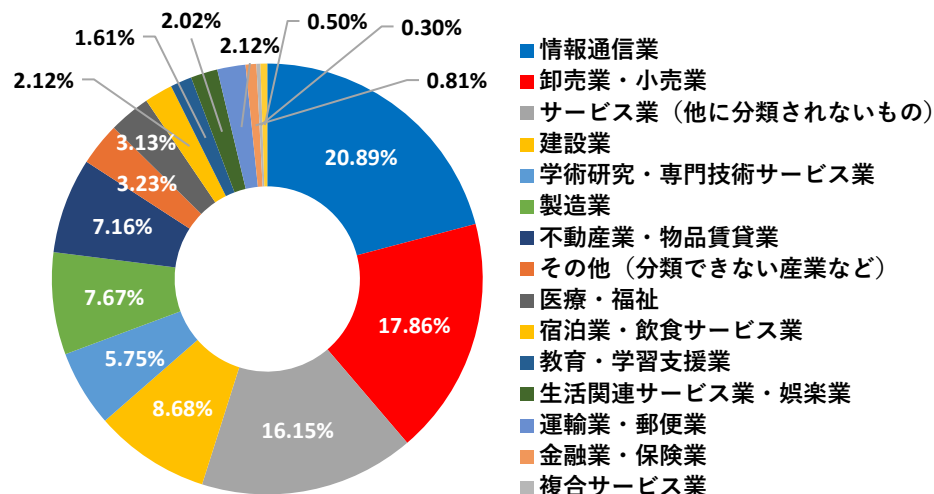
Q6: 出社回帰の実態について
Q7: 出社回帰を進めた背景について
Q8: 通勤時の鉄道混雑状況について
Q9: 混雑回避のための取組について
Q10: サテライトオフィスの利用状況について

■総回答企業数：995社

■実施期間：2026年5月14日(木)～5月28日(木)



企業規模内訳

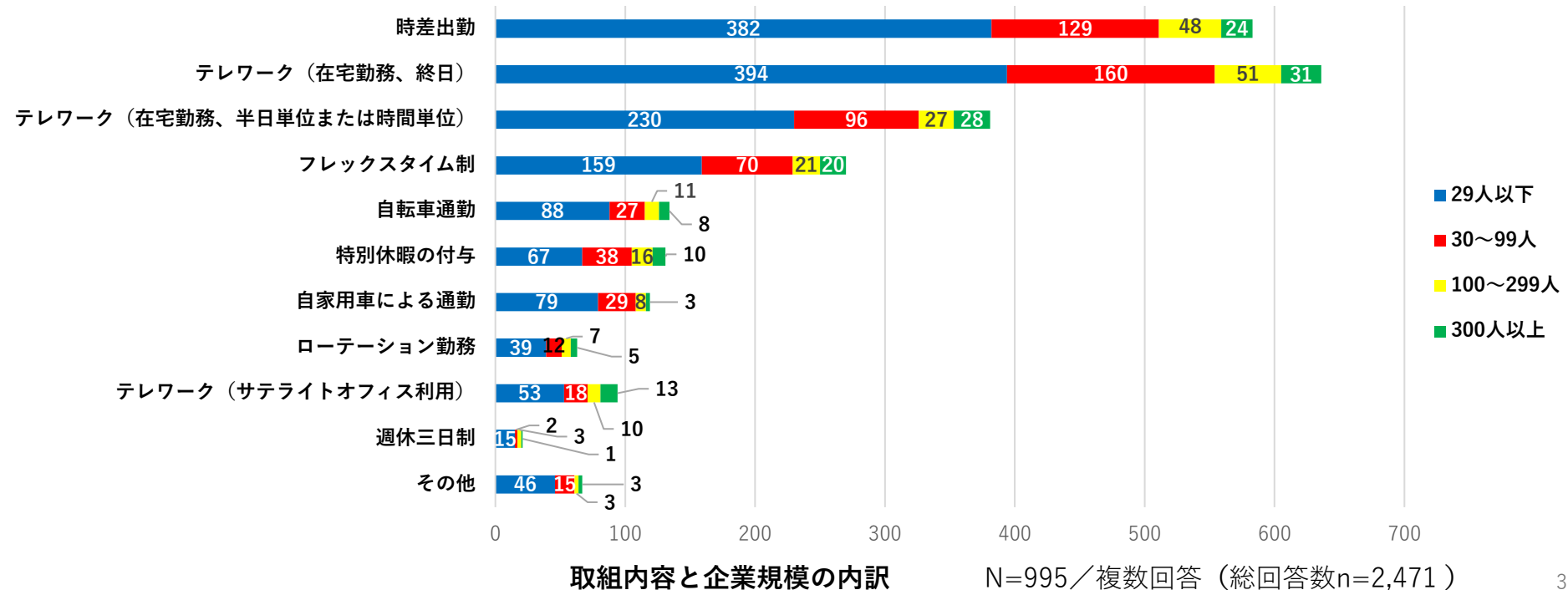


業種内訳

Q1: 令和8年2月～4月の取組内容

令和8年2月～4月に実施した取組内容（複数回答可）

- テレワークは約7割、時差出勤は約6割の企業が実施している
- フレックスタイム制や自転車通勤など、多様な取組を実施する企業も見られた

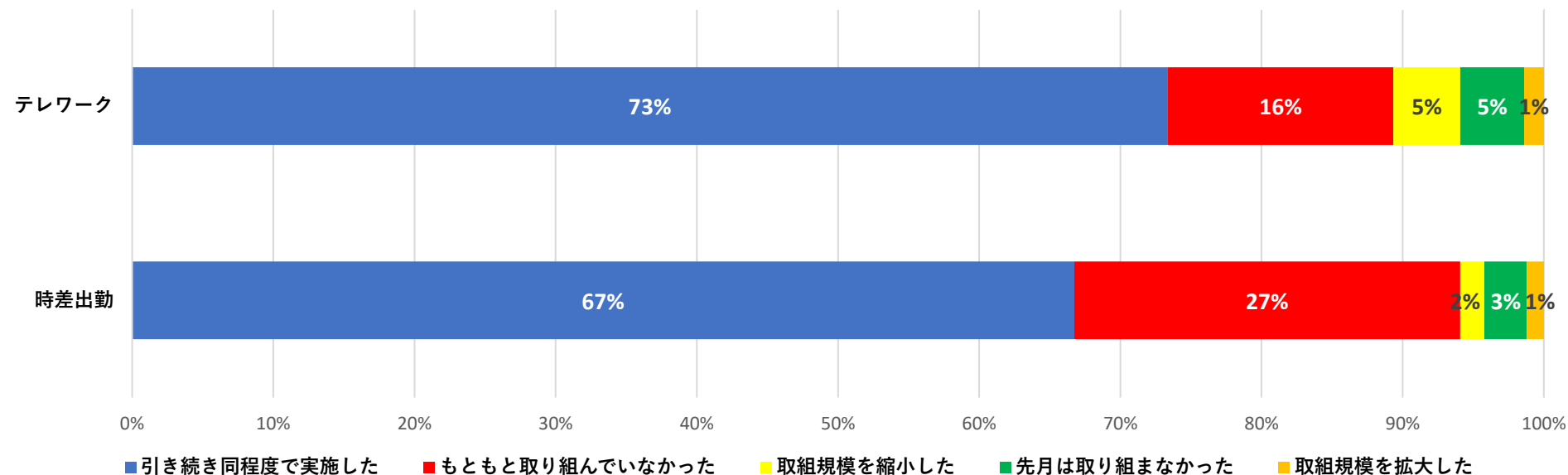


Q2: 2026年2月からの取組規模の変化

2026年2月と比較したテレワーク・時差出勤の取組規模の変化

- テレワーク、時差出勤いずれも約7割の企業が継続して取組を実施している
- 一方で、テレワークは16%、時差出勤は27%の企業が取組を実施していなかった

※小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

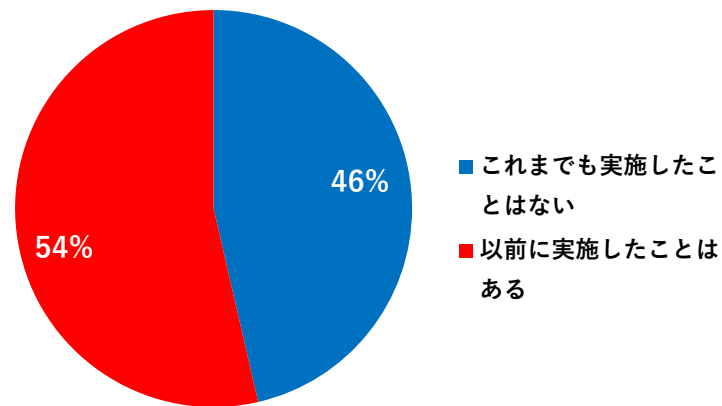


Q3-1：テレワークを実施していない企業の状況

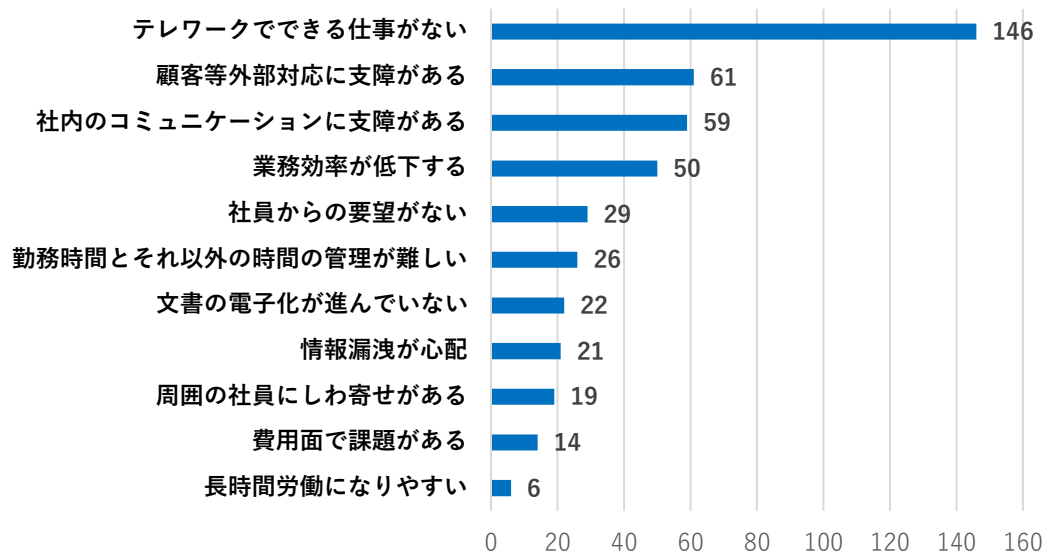
Q1において、テレワークを選択しなかった企業の状況

(※取組内容としてテレワークを選択していない企業)

- テレワークを実施しない理由としては、「テレワークのできる仕事がない」が146件で最も多かった
- 次いで、「顧客等外部対応に支障がある」、「社内のコミュニケーションに支障がある」がそれぞれ約60件となった



テレワーク実施状況 (N=347)



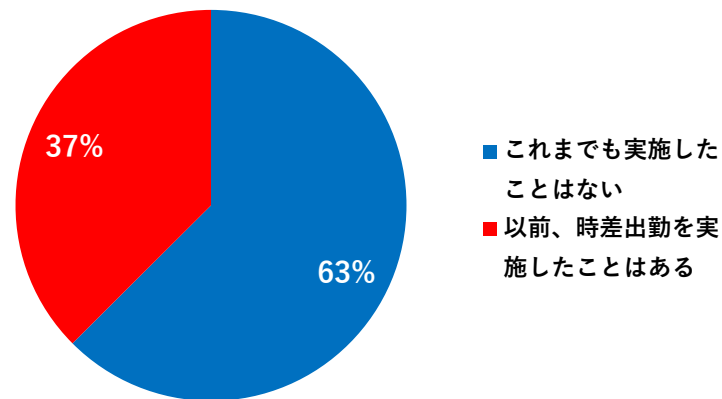
テレワークを実施しない理由 (N=453 複数回答) 5

Q3-2：時差出勤を実施していない企業の状況

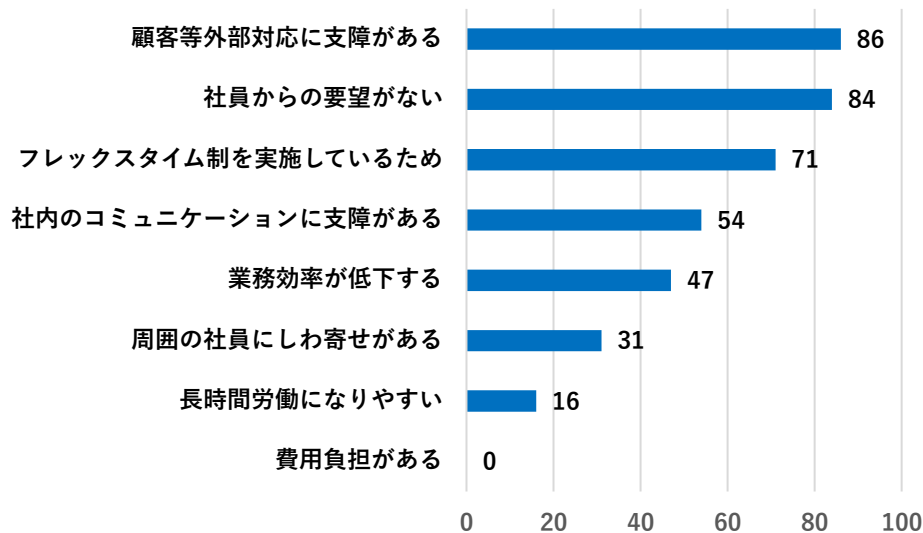
Q1において、時差出勤を選択しなかった企業の状況

(※取組内容として時差出勤を選択していない企業)

- 時差出勤を実施しない理由としては、「顧客等への外部対応に支障がある」が86件で最も多かった
- 「社員からの要望がない」が84件と続いており、業務特性や従業員の意向が時差出勤の実施に影響していると考えられる



時差出勤実施状況 (N=379)

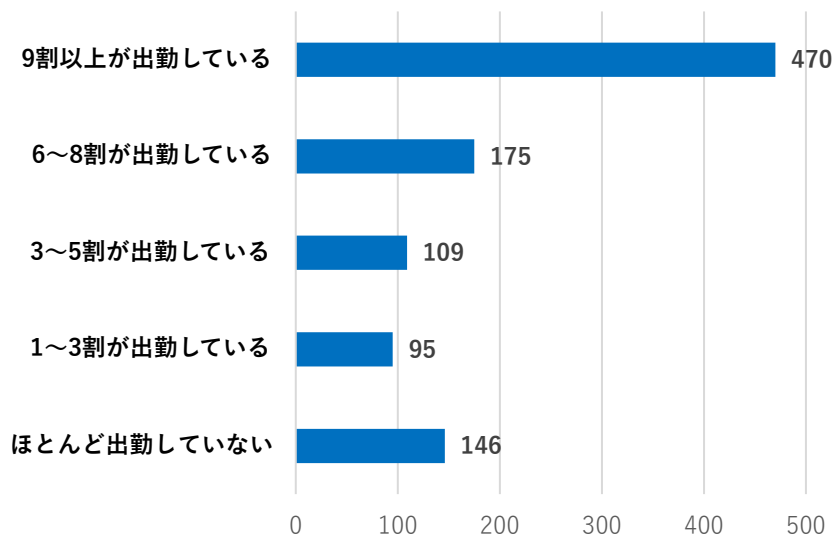


時差出勤を実施しない理由 (N=293)

Q4,5：従業員の出勤割合と時間帯

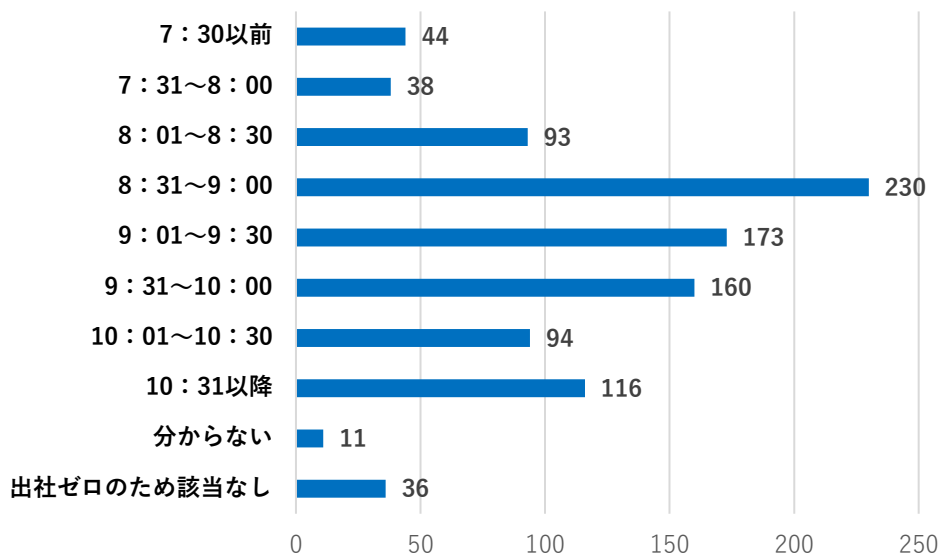
2026年4月時点までの従業員の出勤割合とその時間帯

- 約半数の企業が「9割以上の従業員が出勤している」と回答している
- 出勤時間帯は「8:31～9:00」の時間帯が230件で最も多かった



出勤状況

(N=995)



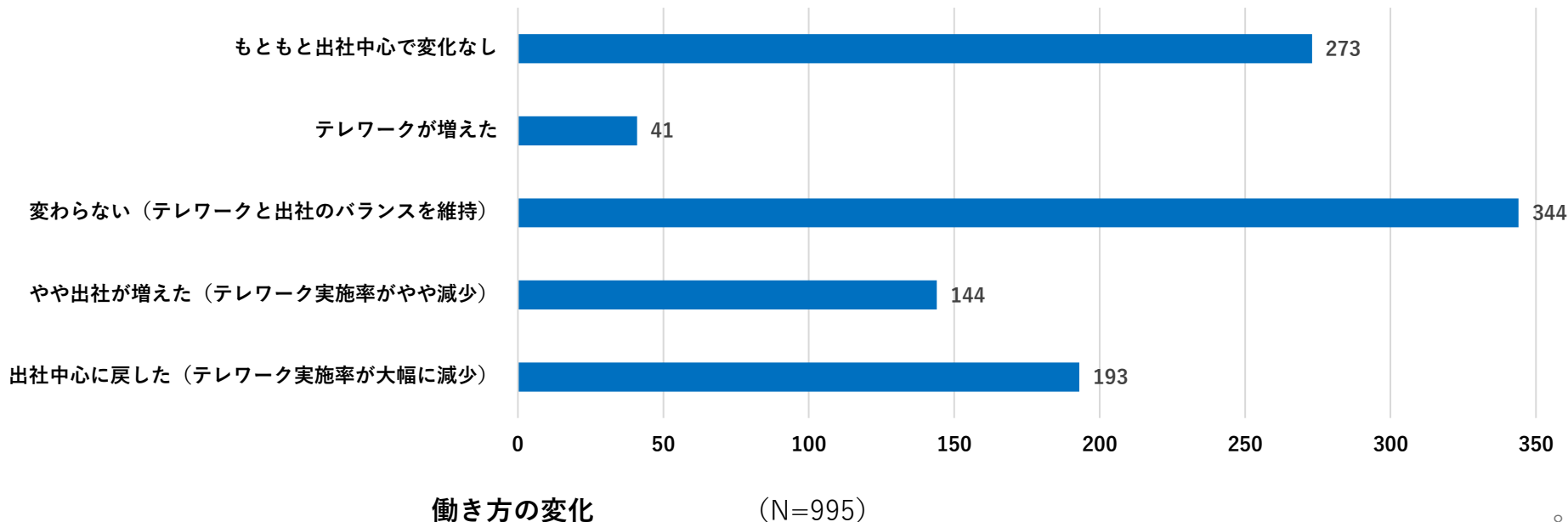
出勤の時間帯

(N=995)

Q6：出社回帰の実態について

令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行以降における出社回帰の状況・働き方の変化を調査

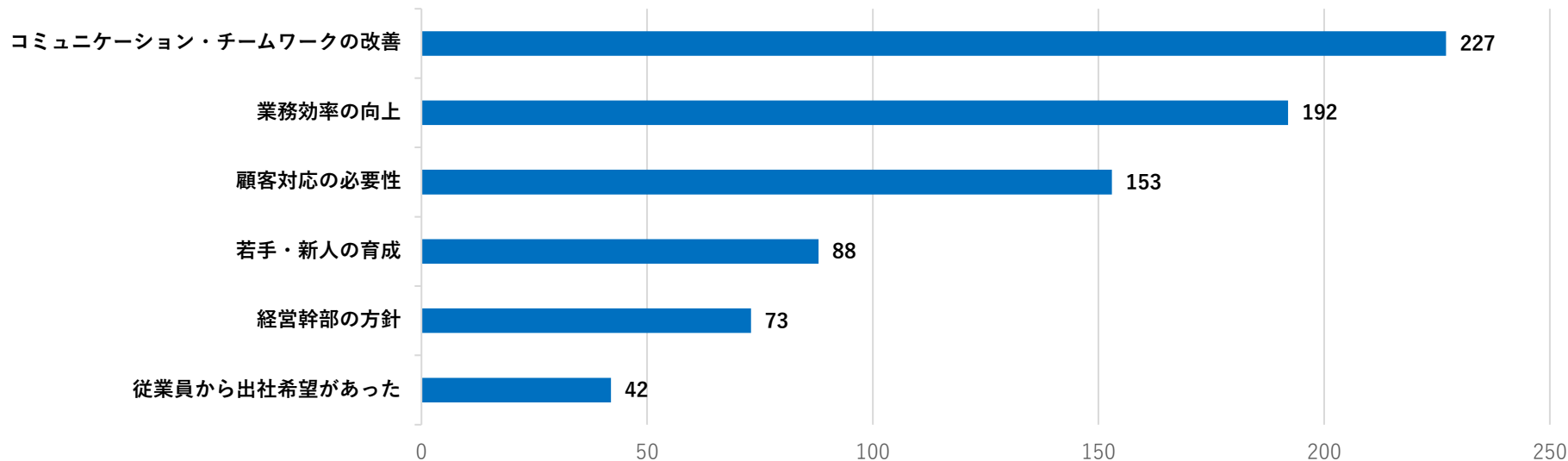
- 「変わらない（テレワークと出社のバランスを維持）」が344社で最も多かった
- 「出社中心に戻した」と「やや出社が増えた」を合わせると337社となり、出社回帰の動きも一定程度見られる



Q7：出社回帰を進めた背景について

出社回帰を進めた企業に対し、その主な理由について調査

- 出社回帰を進めた理由としては、「コミュニケーション・チームワークの改善」が227人で最も多かった。
- 次いで、「業務効率の向上」が192人となっており、組織運営上の観点から出社を重視する企業が多い。



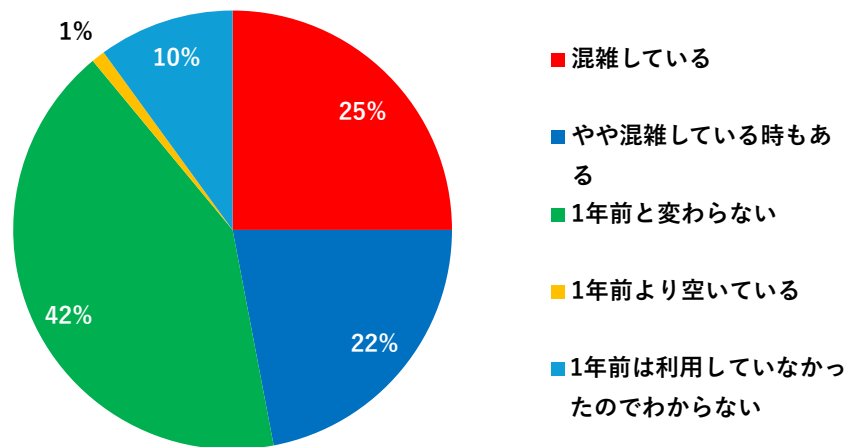
出社回帰の主な理由

N=995 総回答数755 (複数回答)

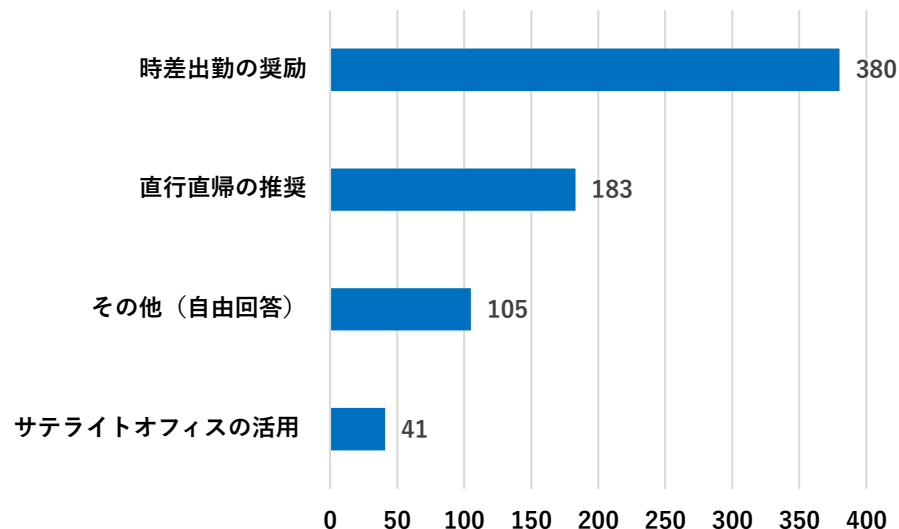
Q8,9：通勤時の鉄道混雑状況について

通勤時の鉄道混雑の状況および混雑回避に向けた取組について調査

- 約6割の企業が、通勤時間帯の鉄道について「混雑している」または「やや混雑している時もある」と回答した。
- 混雑回避のための取組としては、「時差出勤の奨励」が380件で最も多かった。



通勤時の鉄道混雑状況 (N=995)

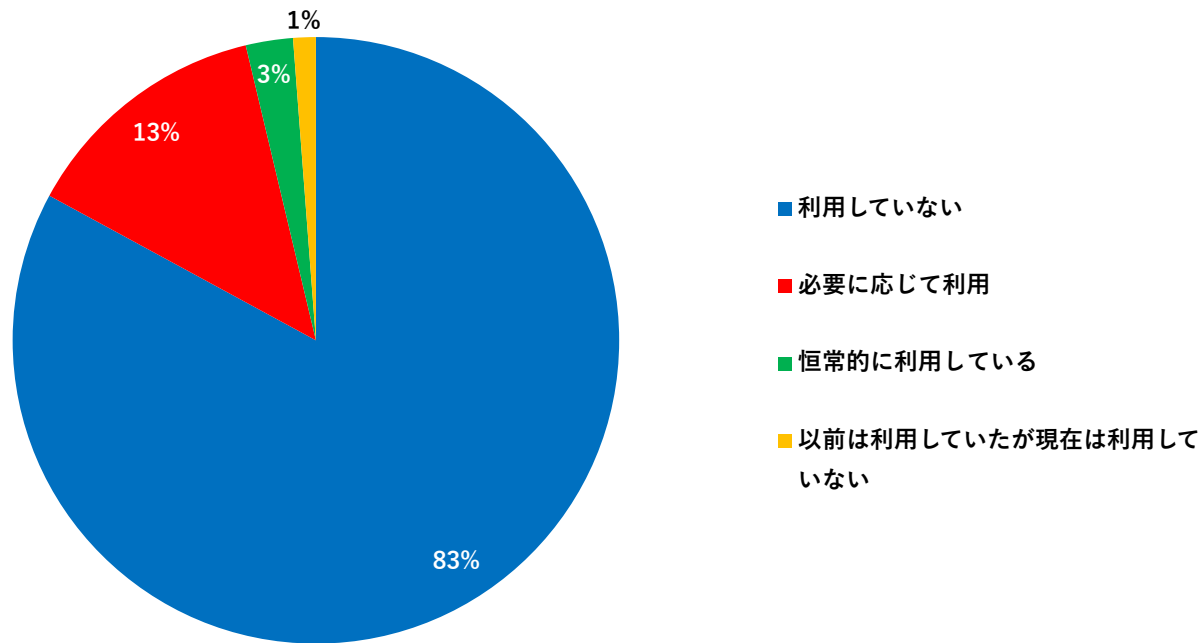


混雑回避のための取組 N=579／複数回答

Q10：サテライトオフィスの利用状況について

サテライトオフィスの利用状況について調査

- 「利用していない」が83%を占め、サテライトオフィスを活用していない企業が大半であった。
- 一方、「必要に応じて利用」は13%となっており、一部企業では柔軟な働き方の選択肢として活用されている。



サテライトオフィスの利用状況 (N=995)